

事務事業名		上下水道料金賦課徴収事務		会計	水道事業		実施区分		
H28担当課等名		経営管理課		事業種別	経常	開始	終了		
H28係等名		料金係		H27係等名		料金係			
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
		施策	45	居住基盤の向上					
目的	対象(誰・何を)	上下水道の利用者			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	上下水道料金の適正な賦課と確実な徴収を図る。				利用者数	45275		
	向上させたい上位施策の成果指標	水道普及率(%)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	徴収率			98.43	98.53	98.43	-	
	成果指標	賦課誤り件数			-	7	-	-	
定性目標									
事業概要	<p>開閉栓の認定により上下水道使用者の特定を行う。 使用水量の検針から使用額を測定し、納入通知書の発行(口座振替依頼)、収納に至るまでの事務処理を正確・効率的に行う。 料金の未納者を極力減らすよう滞納整理を行う。</p>								
事業内容				名称			活動指標		
27年度事業内容	1 納入の適正な管理			1 調査及び納入の依頼			1 通年		
	(1) 住所が不明な方へは、所在確認を行う。								
	(2) 分割納付中の方の納入の管理を適正に行う。			2 再発防止策の実行			2 通年		
	2 業務マニュアルを基本に、必要な事務を確実に行う。								
(1) 書類審査を厳格に行う。									
(2) 月例の定例会を開催し、関係課の緊密な連携を確保する。									
(3) 無届け、申請漏れの下水道接続を防止するため、検針員の確認と速やかな連絡を継続的に保つ。									
(4) 指定工事店への協力要請、不正工事への厳格な処分を行う。									
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		0	0	0	0				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源									
人件費計(千円)②		10,728		10,728					
正規職員所要時間		3,000		3,000					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		10,728	0	10,728	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>分割納付中の利用者について、毎月、収納状況の確認を行なった。 28年4月1日以降は、遅延損害金と延滞金の徴収が開始されるため、これまで以上に期限内納付が必要となり、引き続き適正な債権管理に取り組んでいく。</p>								
改革改善の考え方	①問題点	多様な未納者の存在 遅延損害金と延滞金が賦課されない28年3月31日までの債権と、4月1日以降の債権の扱い							
	②改革提案	経済状況等に応じて、個別に具体的な対応を行う。							